

みなさまこんにちは！ 令和4年も残すところあと1ヵ月になりました。新型コロナ対応をしながらの患者様や利用者様、地域の方々への支援は大変なご苦労だと思います。そんな時、多職種で相談や情報交換ができれば心強く感じられますね。今回は、先日行われた奈良市総合防災訓練の様子と、病院連携室と包括支援センターからのメッセージを紹介します。

## ～奈良市総合防災訓練に参加しました～



10月30日(日)に奈良市総合防災訓練「市民いっせい避難訓練」が行われました。

奈良盆地東縁断層帯を震源とする大規模地震(震度 7)が発生し、奈良市内では建物の倒壊、火災発生、電気、ガス、水道、電話等のライフライン、鉄道、道路、堤防等の破損等があり、多数の死傷者が発生しているという想定で訓練が実施されました。各小学校区にそれぞれ避難所が設けられていますが、重点会場では①佐保川小学校:ドクターヘリの活動見学 ②大安寺西小学校:大地震の揺れを体験 ③西大寺北小学校:放水訓練の体験がありました。



奈良市医師会と当センターは佐保川小学校にブースを設けて参加しました。医師による心肺蘇生法や AED の説明後市民の方に人形で実践してもらったり、当センターでは平時から準備しておく非常持ち出し品のポスター展示、在宅医療・介護の関連図や人生会議の啓発などを行いました。小さな子ども達も教えてもらいながら心臓マッサージを頑張っている姿もみられました。

グラウンドにはドクターヘリが到着、その後出動要請がありすぐに飛び立っていきましたが、「医師をいち早く救急現場に連れていくヘリコプター」を目の前で見ることができました。

今回の訓練には市民全体で 6450 人が参加されたとのことで、防災への熱心な思いが伝わってきました。今回訓練に参加できなかった方も多いと思いますが、一人ひとりが、今災害が起こったら、



命を守るためにどう行動するか、目の前にいる人をどう守るか、どこに連絡するか等を具体的に考えることが必要です。何度も様々な場面をシミュレーションする中で、災害時の行動の引き出しが増えていくのではないのでしょうか。



\*災害時、多職種で情報共有し最善を尽くせるよう、定期的に奈良あんしんネット(MCS)による模擬訓練を行っています。奈良あんしんネットや在宅医療・介護に関するご相談等、お気軽にお問い合わせください。(☎0742-33-5244)

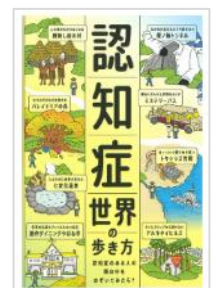
### 奈良市在宅医療・介護連携支援センターからのお知らせ

令和5年2月4日(土)14:00~16:00 奈良市多職種連携全体研修会(Zoom)開催!

基調講演:「認知症世界の歩き方:対話とデザインの力で認知症と向き合う」 筧 裕介 先生

シンポジウム:「多職種連携で支えるその人らしい暮らし」

詳細は改めてご案内しますが、ぜひご予約いただければ幸いです。



連携ニュースレターは、当センターホームページ <http://nara.med.or.jp/nara-city/> に掲載しています。





## 病院紹介コーナー

## 市立奈良病院

市立奈良病院入退院支援課です。病院紹介のトップバッターです。

当院は急性期病院、地域医療支援病院として、患者中心の良質な医療の実践に努めるとともに、市民から愛され、信頼される病院をめざして、日々医療実践を行っています。入退院支援課は、地域住民の皆様に対して安心・納得して診療を受けていただくための窓口として対応させていただいています。

入退院支援課の活動内容は、二次救急指定病院として地域の病院・診療所からご紹介いただいた救急患者さんの受け入れ窓口として、安全で速やかな受け入れができるように調整させていただいています。また外来診療後、入院が決定した段階で患者さん・家族さん個々と面談を行い、安心して入院・治療が受けられるように治療・検査を含めた説明や入院生活に向けての説明と必要な情報の聞き取りを行っています。



退院支援として退院が決まった患者さんが安心して入院前の生活に戻れるように患者さん・家族さんを含め、医師、看護師、福祉相談員等の多職種が連携して話し合を行っています。そして自宅での介護サービスや訪問診療の調整を行い退院後の生活が困らないように支援しています。また自宅での生活が困難な場合は、他院への転院調整や施設入所などの調整も行っています。地域住民の皆様が安心していただけるように、入退院支援課スタッフ一同が患者さん・ご家族様に寄り添い、思いに沿った支援を行うように日々努力しています。

\*\*\*\*\*



## 包括紹介コーナー

## 伏見地域包括支援センター

奈良市伏見地域包括支援センターは、伏見中学校区の西大寺北地区、伏見地区、あやめ池地区を担当しています。近くには近鉄沿線の大和西大寺駅、菖蒲池駅がありマンションや住宅地の開発が進められ人口も増加しています。駅周辺は生活に必要な施設が揃った便利な地域ですが、少し離れると坂道や道幅が狭い箇所もあり、高齢者が外出するのに買い物や公共機関へのアクセスに不便さもあるのが地域の特徴です。

伏見地域包括支援センターの取り組みとしまして、誰もが住み慣れた地域で最期まで自分らしく過ごせるまちづくりを目指しています。地域の皆様や行政、医療・介護・障がい・児童に携わる専門職の方々と一緒に学習会の開催や地域の事業を通して顔の見える関係づくりを築いていく活動を行っています。約3年間コロナ禍で様々な活動が制約され、改めて人と人のつながりや、連携の大切さを感じました。対面での活動が難しい時はオンラインを活用してフレイル予防や、認知症予防の啓発、多職種連携にも取り組んできました。ICTでつながる利便さを体感しながらも、伝わり方や空気感、表情など対面で築ける関係性の大切さも併せて実感しました。

今年度は中止が相次いだ地域の活動やお祭りが少しずつ再開されるようになってきました。今後はコロナウイルス感染拡大に注意をしながら、希薄になりつつある地域住民同士の絆や、つながりを再生していくための行動をしていきたいと考えています。

活動を通じて、地域や専門職の皆さまから頼られる伏見地域包括支援センターをこれからも作っていきます。

